

平成30年10月1日
福島県土木部 港湾課

重要港湾小名浜港・相馬港海上出入貨物量 【平成30年（1～6月）速報値】

【概要】

○小名浜港・相馬港の平成30年上半期総取扱貨物量の合計は、11,768,802トンで、平成29年上半期(11,977,193トン)と比べ208,391トン(▲1.7%)減少しました。

○小名浜港・相馬港の平成30年上半期コンテナ取扱貨物量^{※1}の合計は、10,994TEU^{※2}で、平成29年上半期(12,249TEU)と比べ1,255TEU(▲10.2%)減少しました。

※1 コンテナ取扱貨物量は、実入りで空コンテナは含みません。

※2 TEUは、コンテナ輸送量を20フィートコンテナに換算して表示する単位で、20フィートコンテナ1個を1TEU、40フィートコンテナ1個を2TEUとして計算します。

【総取扱貨物量】

(1) 小名浜港は、8,243,763トンで平成29年上半期(8,494,557トン)と比べ250,794トン(▲3.0%)減少しました。

<主な取扱品目>

順位	品目(中分類)	30年上半期貨物量(トン)	29年上半期貨物量(トン)	増減比
1	石炭	4,653,045	5,039,839	▲7.7%
2	金属鉱	543,376	558,022	▲2.6%
3	重油	482,816	457,313	+5.6%

<主な減少要因>

発電所向けの石炭の取扱量が船繰りの関係で減少したため。

(2) 相馬港は、3,525,039トンで平成29年上半期(3,482,636トン)と比べ42,403トン(+1.2%)増加しました。

<主な取扱品目>

順位	品目(中分類)	30年上半期貨物量(トン)	29年上半期貨物量(トン)	増減比
1	石炭	2,874,322	2,917,652	▲1.5%
2	非金属鉱物	257,732	248,083	+3.9%
3	砂利・砂	87,490	105,265	▲16.9%

<主な増加要因>

相馬LNG基地の供用開始により、液化天然ガスの取扱が始まったため。

◎ 過去9年の総取扱貨物量(上半期)……「別表1」のとおり。

【コンテナ取扱貨物量】

(1) 小名浜港

小名浜港のコンテナ取扱貨物量は、10,994 TEUで平成29年上半期(12,249 TEU)と比べ1,255 TEU (▲10.2%) 減少しました。

○ 輸出・移出は、3,443 TEUで平成29年上半期(4,774 TEU)と比べ1,331 TEU (▲27.9%) 減少しました。

<主な取扱品目>

順位	品目 (中分類)	30年上半期貨物量 (TEU)	29年上半期貨物量 (TEU)	増減比
1	その他日用品	1,820	2,815	▲ 35.3%
2	ゴム製品	468	920	▲ 49.1%
3	染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品	242	301	▲ 19.6%

<主な減少要因>

その他日用品の取扱量が減少したため。

○ 輸入・移入は、7,551 TEUで平成29年上半期(7,475 TEU)と比べ76 TEU (+1.0%) 増加しました。

<主な取扱品目>

順位	品目 (中分類)	30年上半期貨物量 (TEU)	29年上半期貨物量 (TEU)	増減比
1	木製品	1,436	1,342	+ 7.0%
2	製材	1,132	1,450	▲ 21.9%
3	非金属鉱物	957	1,093	▲ 12.4%

<主な増加要因>

住宅建材の取扱量が増加したため。

◎ 過去9年の小名浜港コンテナ取扱貨物量(上半期) …… 「別表2」のとおり。

(2) 相馬港

移出移入ともに取扱はありませんでした。

【問い合わせ先】

土木部 港湾課
(担当者) 主 幹
高萩 俊

電話 024-521-7498 (内)3622
FAX 024-521-7716

小名浜港：小名浜港湾建設事務所
(担当者) 次長
佐々木 宏臣

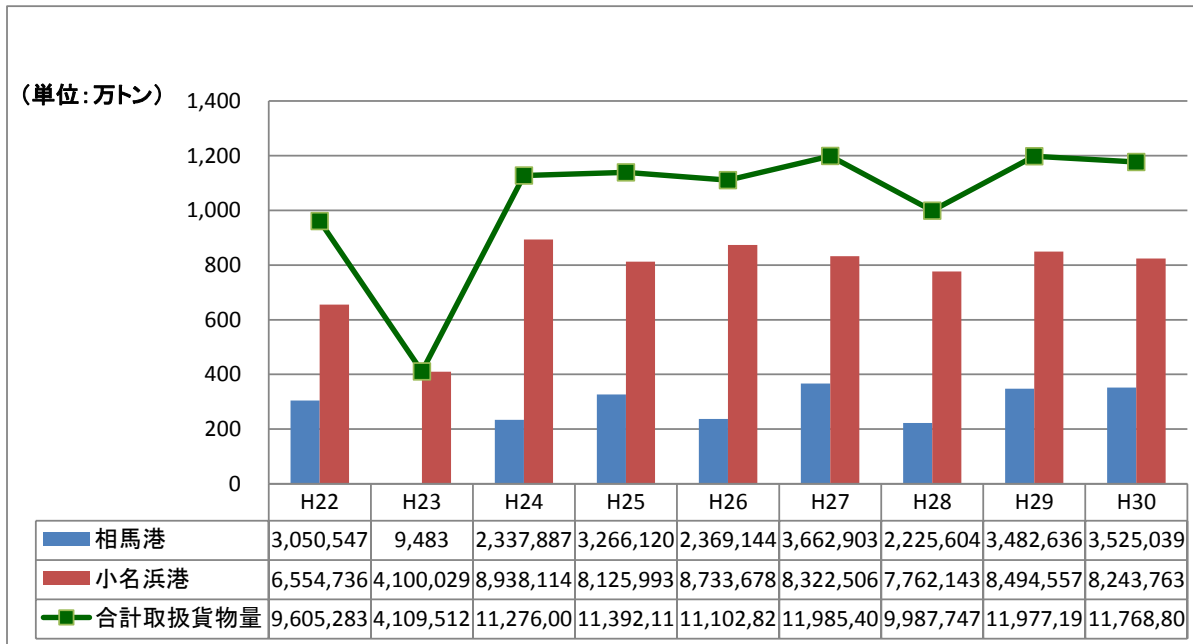
電話 0246-53-7156
FAX 0246-53-7130

相馬港：相馬港湾建設事務所
(担当者) 次長兼総務課長
矢吹 幸雄

電話 0244-26-8627
FAX 0244-38-8200

取扱貨物量の推移

◎別表1 【過去9年の総貨物量(上半期)】



◎別表2 【過去9年の小名浜港コンテナ取扱貨物量(上半期)】

